

サービス業

回答企業42企業

概況

～業況判断D I 値 悪化で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比19.0ポイント低下の▲7.1と悪化となったが、前回調査予想値(▲9.5)は上回る結果となった。項目別では、売上・受注で14.3ポイント低下の▲2.4、売上数量も14.3ポイント低下の0.0、利益でも19.0ポイント低下の▲9.5と項目別でも悪化となった。

宿泊業では、ねぶた祭等イベント増加により宿泊客増加。一方で、仕入価格や経費の増加により利益は減少傾向。

分野別の状況

～総合的業況は悪化で推移～

各種リース業では重機の長期レンタルが増加したが、燃料費高騰から総体的に例年並みとなった。

旅行代理業、円安から代金価格上昇し海外旅行は全体の10%まで減少との事。旅行客は全体的に増加しているため、横ばいで推移したとの事。

来期の見通し

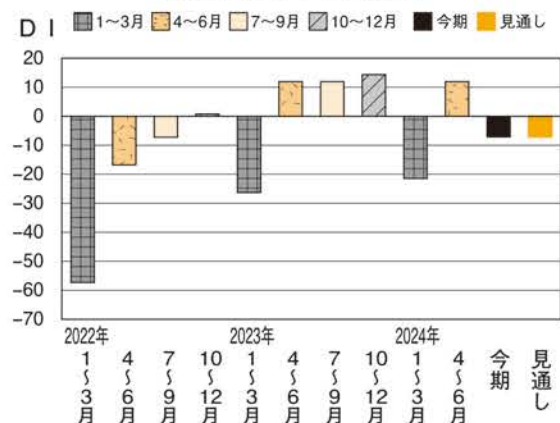
～業況判断D I 値 悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比0.0ポイントの▲7.1と横ばいの見通しである。項目別では、売上・受注では2.4ポイント低下の▲4.8、売上数量も14.3ポイント低下の▲7.1、利益は横ばいの▲9.5と2項目で悪化、1項目で横ばいの見通しとなった。

業種別では、季節要因により業況改善に期待感あるも、総体的には「仕入価格高騰」や「経費の増加」の影響を懸念し、悪化の見通しとなった。

業況判断D I 値の推移



運輸業

回答企業10企業

概況

～業況判断D I 値 やや悪化で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比10.0ポイント低下の▲40.0とやや悪化し、前回調査予想値(▲20.0)を下回る結果となった。項目別では、売上・受注で20.0ポイント低下の▲30.0、売上数量も20.0ポイント低下の▲30.0、利益でも10.0ポイント低下の▲30.0と各項目悪化となった。

主要貨物のりんごは減少期であり、野菜・果物の取扱いに例年通りに推移した。

分野別の状況

～総合的業況はやや悪化で推移～

国内旅行は北陸地方への補助金や復興支援により、国内ツアーが北陸に流れた事から売上は低調に推移した。

昨年に比べ野菜等の収穫は例年並みであったことから売り上げ確保に繋がった。

総じて「燃料価格の高騰」が共通の課題となっている。

来期の見通し

～業況判断D I 値 大幅改善の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比70.0ポイント上昇の30.0と大幅改善の見通しである。項目別では、売上・受注が70.0ポイント上昇の40.0、売上数量も60.0ポイント上昇の30.0、利益では70.0ポイント上昇の40.0と大幅改善となった。

来期は主力のりんごの輸送が増加する事から、各事業者とも業況改善を見込んでいる。

業況判断D I 値の推移

